

平成20年10月22日

村上市長 大 滝 平 正 様

神林地区地域審議会
会長 三 浦 公 平

市総合計画策定に向けた本地区のまちづくりの基本的方向について（答申）

当地域審議会に諮問された「市総合計画策定に向けた本地区のまちづくりの基本的方向（合併市町村基本計画のゾーニング）」について、本土地利用構想と総合計画との関連を念頭におき、審議を重ねてまいりました。

審議の中では、

- ・ 「他地域と連携してまちづくりに取り組むこと」
- ・ 「地域にあるものの活用を図ること」
- ・ 「農業が主体の地域であり、先人達が築き上げてきたものを守ること」
- ・ 「農業後継者や集落の維持に最大限努力すること」
- ・ 「地域の活発なコミュニティー活動を図ること」
- ・ 「地域資源の活用のため重複したゾーニングも考慮すること」

の意見が述べられたところであります。

よって、当地域審議会は、以上のことを踏まえた「市総合計画策定に向けた本地区のまちづくりの基本的方向」とするよう答申いたします。

なお、本地域審議会としましては、地域審議会に課せられた事項の中の一部について、この度市長から諮問いただき審議してまいりましたが、住民生活に新市の諸施策が具体的に現れる中で、今後は地域住民の目線に立った審議を進めていきたいと考えておりますので、新市の均衡ある発展と安定的な行政サービスの確保に向けた市政運営に努められますよう要望いたします。